

# 川崎市社会福祉協議会 第4期地域福祉活動推進計画



社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

# はじめに

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

会 長 佐 藤 忠 次



本会では、2002年度（平成14年度）以来、これまで3期にわたり地域福祉活動推進計画を策定したところであり、市域における住民参加による福祉のまちづくりの実現に向けて、これら計画の推進と普及啓発を図りつつ、地域の様々な関係団体・機関、社会福祉施設等と協働することにより、地域福祉活動を着実に推進してまいりました。

川崎市では、2015年（平成27年）3月に「川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョン」を策定し、多様な主体と連携を図りながら、川崎らしい都市型の地域包括ケアシステムの推進に向けた取組を行っており、地域課題の解決を図るために、住民の視点から地域福祉を推進していくための行政計画として「第5期川崎市地域福祉計画」を策定しました。

本会の「第4期地域福祉活動推進計画」は、この「第5期川崎市地域福祉計画」と計画期間を同じくし、両策定委員の意見交換も交えながら、理念の共有化等一体的な計画となるよう策定したところであり、今後とも、市域における地域福祉が推進されるよう、行政との連携を一層強化してまいります。

さらに、本会では、社会福祉法人制度改革におけるガバナンスや財務規律の強化、地域公益活動の義務化等を背景に、安定的な経営基盤の確立とあるべき将来像を構築するために「組織経営計画」を策定しました。

この「組織経営計画」は、本計画と基本理念を同じくし、事業に必要な資源の計画的調整や調達を行う計画でもあり、二つの計画を両輪にして、市域における地域福祉の中心的推進役としての本会の役割を改めて認識し、具体的取組を実践してまいります。

事業の推進には、市民をはじめ会員、関係団体・機関、社会福祉施設、行政の皆様方との「地域ぐるみ」の協働が不可欠であります。

皆様とともに福祉のまちづくりの実現を目指して、より一層地域福祉の増進に努めてまいりますので、心からご支援ご協力をお願い申し上げます。

2018年（平成30年）3月

# 第4期地域福祉活動推進計画の 策定にあたって

社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会  
第4期地域福祉活動推進計画策定委員会

委員長 **富岡茂太郎**



普段の暮らしの中で発生している様々な生活課題の解決に向けては、地域住民の方々の理解や協力のもと、地域でともに解決していくための活動や仕組づくりを、地域全体で協働して取り組んでいくことが重要となってきます。

本会では、2018年度（平成30年度）からの第4期地域福祉活動推進計画を、地域福祉の推進を目的とした、民間の活動・行動計画と位置付けて策定いたしました。

策定にあたっては、策定委員会を7回（内2回は行政計画策定委員との意見交換会）、作業部会を7回開催し、川崎市社会福祉協議会の各部会や委員会・関係機関等へのヒヤリングの実施や、計画素案の公表による意見募集を行いました。

これまでの計画も市計画との連携を図っておりましたが、第3期の計画を1年延長し、市計画との理念の共有化と策定年度を合わせることで、より効果的な地域福祉の推進に取り組んでいけるような内容となっております。

本計画では、基本理念として「みんなで支えあい ともに安心して その人らしく暮らせる 川崎のまちづくり ～ともに目指す地域包括ケアシステムの推進～」を掲げ、3つの基本目標と6つの基本的取組の中に、17の具体的取組を設定し、住民主体による居場所づくりに向けた支援と専門機関との連携ネットワークの構築に向けた取り組みを重点的取組として構成されております。

推進期間は2018年度（平成30年度）から平成2020年度（平成32年度）の3年間とし、進行管理については、推進委員会を設置し、計画の進捗状況の確認、結果及び成果を評価するとともに課題の検討等を行います。

今後は、第4期地域福祉活動推進計画を基軸とし、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心・安全に暮らし続けられる福祉のまちづくりの実現に向け、地域住民の皆様とともに取り組んでまいります。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力いただきました策定委員の皆様をはじめ、計画策定にご協力いただきました関係者の皆様、さらにご意見をいただきました市民の皆様にご心から感謝申し上げます。

2018年（平成30年）3月